

消しゴムはんこを作ろう

What's HANKO ?

「はんこ」とは、木や石、象牙、金属、合成樹脂などを素材として、その一面に文字やシンボルを彫刻したもののことを言います。本来、個人や団体のしるしとして公私の文書に押して、その責任や権威を証明することに用い、印や判、印章などと呼ばれることもあります。日本には西暦57年ごろに中国から送られたとされ、その歴史はずいぶんさかのぼります。

さて、そんな由緒ある「はんこ」ですが、今回は身近な「消しゴム」をその素材として割付文様を作成し、和柄が素敵な小物制作にチャレンジしてみましょう。



わりつけもんよう 割付文様

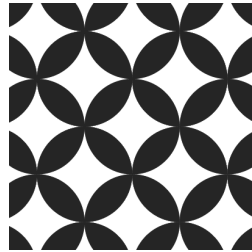
一個の文様を規則的に繰り返した文様で、デザインするとき用紙に縦横の線を引き、交点に文様を割り付ける(=レイアウトする)ことに由来しています。図形で構成された文様であるため、幾何構成文と呼ばれることもあります。

同じ図柄を何度も繰り返して表現できるのがはんこの魅力のひとつですから、その特徴を活用すれば、次のような和風のパターンも手軽に表現することができます。

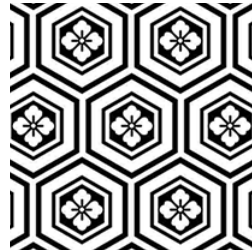
A. 青海波



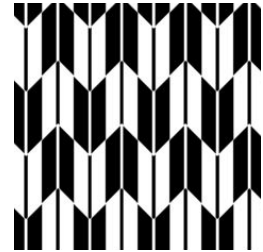
B. 七宝



C. 亀甲



D. 矢絰



ちなみに、それぞれの文様には意味や込められた願いがあり、青海波(せいがいは)は「大海原の穏やかな波のようにいつまでも穏やかな暮らしが続くように」、七宝(しっぽう)は「円満であること、富貴や子孫繁栄」といった具合です。

では、Cの亀甲(きっこう)にはどのような願いが込められているでしょう？

ヒント：亀甲文様は、その名の通り亀の甲羅をモチーフとしています。

.....
.....



解答例 亀は長寿のシンボルなので、「健康で長生きできるように」という願い

作り方を確認しよう - How to make -

図案編

① 用紙に割付文様を描き、図案をトレーシングペーパーに写す。

※ ベタ（塗りつぶし）の部分は斜線で表す。

※ 鉛筆は濃い目のもの（2B以上を推奨）を使用する。

② 印面に①で写した図案をあてて、ウラからこする。

※ 爪などの硬いものをあててしっかりとこする。

※ この時点で図案が鏡写しの状態となる。

ただし、割付文様の場合、大抵は向きを気にしなくてOK。

注：①でトレパに写すときは



○ そのままでOK × 鏡写しはNG

彫刻編

① 図案の輪郭に沿って、ゴムの色付き部分を切り取っていく。

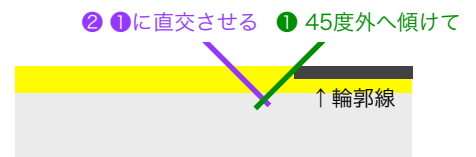
※ 刃を輪郭の外へ45度傾けて、輪郭線に沿って切り込みを入れる。

その切り込みに向けて反対側から切り込む。

※ 曲線のところは刃を固定してゴムを回転させる。

② 残った不要な部分を切り取っていく。

※ 面積が広い場合は彫刻刀を使って仕上げる。

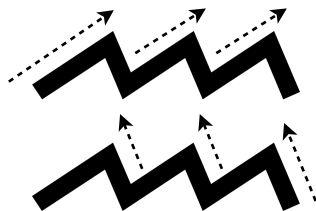
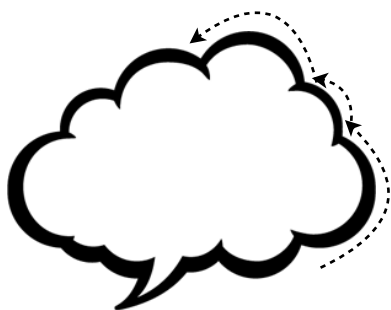


印面（ゴム）の断面図

切り込みの入れ方

輪郭線のパターンによって、切り込みの入れ方を工夫しましょう。

例えば、下図のようなモコモコ線の場合、作業に慣れるまでは刃をねじらないように一回ずつ刃を抜きながら切り込みを入れていきます（先述のとおり、曲線部分は刃を固定してゴムを回転させます）。また、傾きが同じ線の場合、同じ方向の線をまとめて作業すると効率的です。



曲線のところは刃（デザインナイフを持つ手）を固定しよう！